

Pick Up News 秋も深まってきました。後期もスタートしてから早1ヵ月が過ぎました。9月下旬に3年生の研究室配属が行われ、各研究室に10名程度の3年生が配属されました。4年生はいよいよ研修(卒業設計・卒業論文)の取り組みが本格化。これから3ヵ月間は大学生活4年間の総まとめの時間となります。しっかりとした成果を残して卒業できるように、頑張りましょう。さて、建築学科では、この1ヵ月においてもさまざまな動きがありました。福屋准教授のグッドデザイン賞受賞といううれしいニュースもありました。学内の成績優秀者表彰では多くの建築学科学生・院生が表彰されました。不破講師のもと進められている太白区との共同講座には多数の建築学科学生が自主的に、そして意欲的に参加しています。来年度に向けて、入学試験もスタートしました。多くの高校生の志願を期待しているところです。



本学科の福屋粧子准教授が設計した八木山ペニーランドのエントランス「八木山ゲートテラス」が2017年のグッドデザイン賞を受賞！「周囲の地形の延長として、誰でも自由に入出りできるテラスを持った新しいゲート」「相互のコミュニケーションを可能にする立体的な広場」の設計が評価されています。



くりこま空き家プロジェクトでは壁塗り初体験！



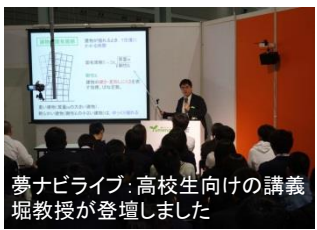
昨年度の成績優秀者表彰！学長とともに記念写真



日本建設業連合会様主催の現場見学会。毎年、本学学生も参加させていただいています。今年は新築された大学病院研究施設の見学会でした。



3年生の設計課題もスタート！毎回発表があります



夢ナビライブ：高校生向けの講義堀教授が登場しました

太白区と本学との共同講座が開講！「地域の魅力創出のためのまちづくり実践学」。本学科不破講師が中心となって講義やワークショップを進める半年のプログラム。



Pick Up Lab. 新井研究室では、建築やまちの空間デザインとともに、ヒト・モノ・コトの相互連関からなる場づくりに力を入れています。現在は、復興公営住宅において、コモンスペースがみんなの居場所になるよう、仕掛けをいくつか実践しています。一つは「あすと食堂」の運営で、多様なNPOや大学と協働しながら、月3回オープンさせています。一人でも入りやすいようカウンターを設けるなど、テーブルレイアウトも工夫しています。また長町南の空家を活用して、シェアハウスの来春開設を目指しています。リノベーション設計のみならず、事業計画(資金面等)についても学生たちといっしょに検討しています。



研究室で運営を担う「あすと食堂」

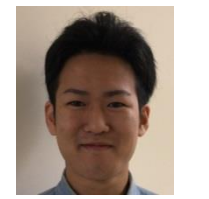


研究室で提案したシェアハウス提案書



4年 大友 ほのか さん
宮城県工業高校 出身

Pick Up Student 建築に興味を持ったのは中学生の頃からで、高校は工業高校に進学し建築のことを学び始めました。そして、もっと専門的なことを学びたいと東北工業大学に進学し4年が経とうとしています。これまでに大学で学んできたことは高校で学んできたことよりも専門的で、私にとって多くの知識を身に付けることができました。また建築の学習だけでなく課外活動でも積極的に活動してきました。大学祭実行委員会に所属し、仲間と協力して1つの大きな目標を達成する難しさと楽しさを経験することができました。これまでの多くの経験を活かし、卒業後も様々なことに積極的に取り組んでいきたいです。そして残り少ない学生生活も充実したものにしていきたいです。



2年 浅野 起基 くん
仙台工業高校 出身

Pick Up Student 東北工業大学に入学してあっという間に1年半が過ぎてしまいました。私は工業高校の建築学科からあまり深く考えずに進学しましたが、この大学では建築についてより広くより深く学ぶことができるため、自然と自分のやりたいことや好きな分野が見つかると思います。2年生になると、難しい講義や課題の量が増えたりと大変なことも多いですが、その分達成感も大きく充実した時間を過ごすことができている。私は現在工業の教員免許取得を目指して教職科目を履修しています。教職科目では普段会わない他学科の人とも一緒に講義を受けるため、よりたくさんの人と関わることができ、これからも専門科目と両立しながら目標に向けて楽しく学んでいきたいと思っています。